京都府高等学校体育連盟主催事業における
新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専 門 部 名 ： テニス 専門部

策 定 日 ： 令和 3 年 4 月 23 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- 上部大会（全国大会や近畿大会）が実施されるならば、テニス専門部独自の徹底した感染対策を徹底した上で可能な限り大会は開催する予定である。ただし、京都府内の感染状況が悪化し、感染拡大の恐れが顕著な場合は大会を中止することもある（京都府高等学校体育連盟の指示に従う）。

2、大会参加条件について

- 参加者は大会２週間前から健康観察を義務づけ、大会当日体調に異常がある場合は参加を認めない。なお、健康観察はチェックシートにて行い、大会当日提出させる。
- 大会の参加については、共通ルールの基になっている「京都府高体連主催大会等実施時の留意事項（令和３年３月版）」にあるように、各学校長の判断を尊重する。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- 大会会場において、37.5℃以上の発熱者が出た場合、速やかに関係者（顧問）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- 発熱者以外の他の部員が感染している可能性に関しては、当該高校の顧問が事情を把握し、当該高校の学校長と顧問が協議し、当該高校学校長が出場可否の判断をする。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- エントリー会議前に辞退が決定した場合、参加申し込みの取りやめとし、参加料は徴収しない。
- エントリー会後に辞退が決定した場合は、記録上No Show扱いとなり、参加料を徴収する。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- 『無観客試合』として実施するので、保護者の観戦・応援は一切認めない。もし、保護者の観戦や応援が発覚した場合は、該当校に責任をとってもらい、該当校全体を出場辞退とする。
- 『無観客試合』として実施するので、会場に来場できるのはエントリーされた選手のみである。よって、その日に出場する選手以外の部員の観戦や応援も一切認めない。

6、専門部独自の感染症対策について　【別紙の専門部独自コロナ対策を参照】

- 試合時以外での常にマスクの着用、「密」をさける行動、ソーシャルディスタンスの確保を常に心掛ける。
- エントリー後の諸注意、開閉会式は原則開催しない。表彰式も簡素化して個別で表彰する。本戦や団体戦のドロー抽選はすべて役員による代理抽選とする。
- 飲み物は共有しない。また雨天の場合は「密」を避けるため屋外待機になる可能性が高いので、雨具の準備を必ずする。
- 更衣室やクラブハウスなどの利用に関しては、施設側のルールに則って使用する。
- 結果報告の際も、オーダーオブプレイのカードを選手は触らない。役員によるカードの入れ替えと選手の声での報告とする。
- 試合前後の握手、選手同士のハイタッチ、団体戦での円陣などの身体的接触は禁止する。ダブルスのパートナーの打ち合わせは向かい合わないで同方向を向いて行う。また、自分を鼓舞するための大声も自粛する。ボールを相手に渡す際も、身体的接触がないようにする。
- 各コートの審判台に消毒液を設置する。スコアボードの入れ替えや必要な場合は手指消毒で使用する。
- 「密」を避けるために、試合が終わった後は長居をせずに、終了した選手より帰宅するのを原則とする。試合後の学校単位のミーティングも自粛する。